

豊城中学校は、2014年（平成26年）10月6日付でパリのユネスコ本部からユネスコスクールに認定されました。



ユネスコスクール認定証（玄関）



ユネスコスクールのパネル（玄関）

ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念「人びとが二度と戦争をくりかえさないように」や「世界平和に貢献する」という目的を学校のあらゆる面（組織運営や授業、プロジェクト、経営方針等）に位置づけ、「**児童生徒の心の中に平和のとりでを築く**」ことを目指す、ユネスコが認定する学校の国際ネットワークです。

日本のユネスコスクールはユネスコ国内委員会から「ESDの推進拠点」と位置付けられており、ESD（持続可能な社会の担い手を育てる教育）は現在民間企業をはじめ豊橋市も推進しているSDGsの17の目標達成に貢献するもの（重要な手立て）と位置付けられています。

豊城中学校は2014年の加盟時には「**人々の生活や地域文化・環境を守り続ける生徒の育成～ボランティア活動や地域住民との交流を通して～**」という内容でユネスコ活動として認められました。



伝統と文化に育まれた  
豊城中校区



**プロジェクトの目的**  
～校区の伝統や文化を継承するために～

- ① 深く知る
- ② 未来へと継承していく方法をみんなで考える
- ③ すずんで関わる

11 住み続けられるまちづくりを

加入と当時の活動からは変化を続けながら、現在の豊城中学校でも、伝統と文化に恵まれた地域環境や人材を生かした活動を継続しています。「プロジェクト継 (KEI)」として、地域の伝統文化の継承を軸に、1年生は「飽海人形浄瑠璃」、2年生「鬼祭」、3年生「豊橋祇園祭」とし、各学年で活動を展開しています。生徒たちは3年間を通した「プロジェクト継 (KEI)」の活動をとおして、地域文化継承への思いを高めています。

令和4年度には、第7回東三河ESD・ユネスコスクールフォーラムにて生徒会役員が本校の「プロジェクト継 (KEI)」の活動の様子を発表することで、本校が継続して行ってきた学びを発信するよい機会となりました。

本校の特色の一つに、文化の継承を目的とする部活動として、「人形浄瑠璃部」があります。飽海人形浄瑠璃保存会の方を講師に招き、太夫や三味線、人形遣いなど生徒たちは本格的に学んでいます。文化祭や芸能フェスティバルなどで発表することに加えて、依頼があれば、小学校や地域のイベントなどに参加しています。県内でも珍しい活動の功績が認められ、令和5年度「愛知県教育文化奨励賞」をいただきました。

その他、国際交流の一環として、南通市第一中学校との作品交流を継続しています。本年度は久しぶりに中国から作品が届き、校内に展示しています。本校からも、書道や理科スケッチ、美術の作品を送ることで交流を続けています。

また環境保全の活動では、9月に「豊川クリーン活動」を行っています。吉田城周辺や母なる豊川の河川敷、安久美神戸神明社や吉田神社のごみや落ち葉拾いなどの活動から、身近な環境のよさやそれを守っていくことの大切さを実感できるようにしています。



中国交流 南通第一中学校の作品



令和4年 東三河 ESD ユネスコスクールフォーラム 愛知大学にて



豊川クリーン作戦



## 豊城中学校 ESD活動(年間計画)

- ・ 4月 プロジェクト継(KEI)推進委員会
- ・ 6月 チーム祇園 出前講座「祇園祭から学ぶ」【講師】奉賛会 酒井数美 様
- ・ 7月 チーム祇園 豊橋祇園祭 ごみ袋配付活動ボランティア
- ・ 8月 人形浄瑠璃部 芸能フェスティバルにて発表 《会場》プラット(穂の国とよはし芸術劇場)
- ・ 9月 人形浄瑠璃部 文化祭にて発表  
プロジェクト継 プレゼンテーション 文化祭にて発表 (3年生による)  
豊川クリーン作戦
- ・ 11月 チーム鬼 出前講座「鬼祭から学ぶ」【講師】奉賛会 平石雅康 様  
チーム文楽 「人形浄瑠璃体験学習」
- ・ 1月 チーム鬼 鬼祭 たんきり飴の袋詰めボランティア 安久美神戸神明社
- ・ 2月 チーム鬼 鬼祭 紙垂づくり体験
- ・ 3月 第2回プロジェクト継 推進委員会



人形浄瑠璃部 文化祭での演目発表



チーム祇園 祇園祭 ごみ袋配付ボランティア



チーム鬼 鬼祭 飴の袋詰めボランティア